

ICT社会の発展を 価値ある「サービス」と「人」で支える

TO OUR SHAREHOLDERS 株主の皆さまへ



株主の皆さまの日頃のご支援に心より感謝申し上げます。

わが国経済は、世界経済の減速、主要国の貿易摩擦問題などが懸念要素としてあったものの、企業収益や雇用・所得の水準は底堅く、緩やかな景気回復基調で推移してきました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により先行きは厳しい状況が続くものと見込まれます。当社が属する情報サービス産業におきましては、IoT、AIを活用したITサービスの進展、クラウドサービスやセキュリティ対策、RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）導入等先進的分野への需要は継続されるものの、経済的影響からIT投資全般は抑制される傾向にあり注視が必要です。このような状況の下、引き続き技術者の確保と育成に注力するとともに、アウトソーシング事業の拡大と上流工程への移行による高付加価値化に加え、多様な業種にわたる運用ノウハウを活かしたソリューションなど、当社の強み・得意分野の向上を図り、より一層の業容拡大を目指すとともに、受注案件ごとの採算性向上に努め、収益力の強化を図ってまいります。ここにこの1年の取り組みについてご報告させていただきます。株主の皆さまにおかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

田中 博

OUR VISION AISビジョン

創業の精神



約束はきちっと果たす
決して迷惑はかけない
礼儀を重んじ
感謝の心を失わず
謙虚で素直に周囲の言葉を受けとめる

◀ 社是

企業理念

旭情報サービスは
生き生きとした人づくりに基づき
創意工夫とたゆまぬサービス改善により
情報社会の健全な発展に貢献します。



Q1 当期の最終業績はいかがだったでしょうか？

A1 当期も増収増益を維持しました。ひとまずホッとしています。主要3事業では、ネットワークサービス部門とシステム開発部門が順調に業績を伸ばし、システム運用部門だけが縮小しています。システム運用は大型の汎用システムの保守・運用が主体ですから、クラウドサービスなどの広がりにより、今後も縮小する傾向にあります。引き続きシステム運用部門から勢いのあるネットワークサービス部門とシステム開発部門への人員のシフトを進めていきます。

これまでのところ、お客様の多くがIT投資に強い関心と意欲を示しており、事業全体は着実に拡大しています。ただし、コストだけは引き下げたいという動きもあり、価格面の見直しなどは簡単ではありません。当社としては案件ごとの採算性を重視し、付加価値のあるサービスの提供に一層努めてまいります。

Q2 新型コロナウイルスの影響が心配です。どのような対策を取りましたか？

A2 リーマンショックや東日本大震災の経験からそれなりの備えはしてきました。当社の場合、約1,500名の社員の大多数が、派遣や請負という形でお客様の事業所で働いており、お客様の感染防止方針に沿ってテレワークに移行する事例が増えています。また、この4月には、160名を超える新入社員が入社しましたが、新人研修についても基本的には在宅での研修とし、Web・テレビ会議システムを使った朝礼や研修を行っています。新入社員の配属については、配属予定先のお客様と相談しながら順次進めていく予定です。なお、本社・支社に勤務する約100名については、在宅勤務と時差出勤を組み合わせ、可能な限り出勤人数を減らし、感染防止を徹底しています。

Q3 ICTに関する最近の動向や働き方改革関連法への対応はいかがですか？

A3 11年前のリーマンショック時に当社の業績は大きな影響を受けました。しかし当時と比べますと、IT投資の重要性は格段に高まっており、工場の生産設備だけでなく、ホワイトカラーの業務でもAIやRPA（ロボテック・プロセス・オートメーション）などの導入が進んでおり、それに伴うセキュリティ対策の需要なども増えています。

今、話題の5G（次世代高速通信規格）やDX（デジタルトランスフォーメーション＝デジタル技術を使った事業構造の変革）によって、企業活動におけるあらゆる業務の変革が求められており、それに伴ってビジネス環境の変化も待たないとなっています。この分野への投資はまだまだ続くと予想しています。

働き方改革についてはこの4月から同一労働同一賃金への対応が求められています。当社では、お客様と当社社員の労務内容について詳細な打ち合わせを行い、双方が納得のゆくWIN - WINの関係構築を目指していきます。

Q4 今後の歩みについても抱負をお聞かせください。

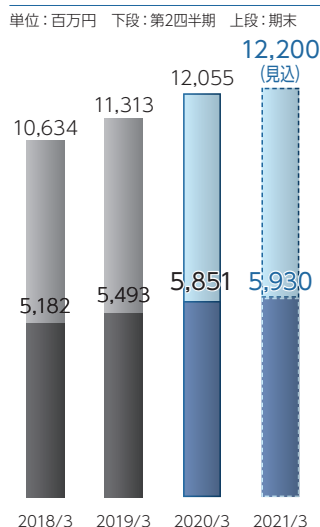
A4 当期は新しい中期業績目標の初年度でした。2022年3月期までの3か年で売上高12,500百万円、営業利益1,200百万円、営業利益率9.6%の達成を目指しています。

しかし、新型コロナウイルスの感染拡大やそれに伴う政府の緊急事態宣言の発令など想定外の事態が起き、この影響がどこまで及ぶのかを慎重に見通さなければなりません。

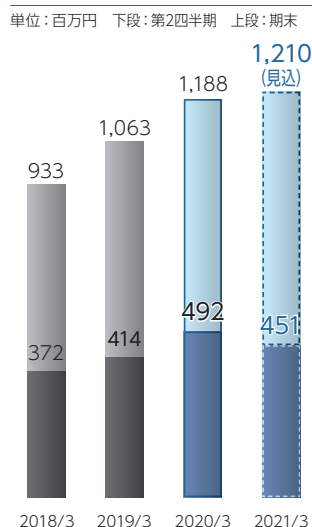
今後は今一度初心に立ち返り、足元をしっかりと固めるとともに、一歩ずつ業績を積み上げることで、株主の皆さまの信頼を獲得してまいりたいと決意を新たにしています。引き続き、皆さまのご支援をよろしくお願い申し上げます。

FINANCIAL HIGHLIGHTS 業績の推移

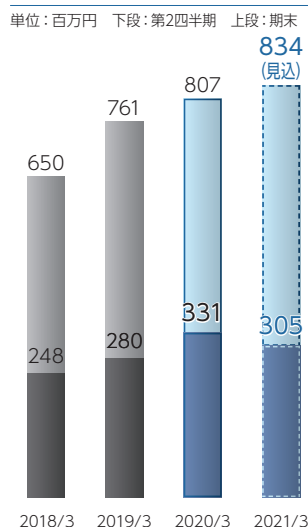
売上高



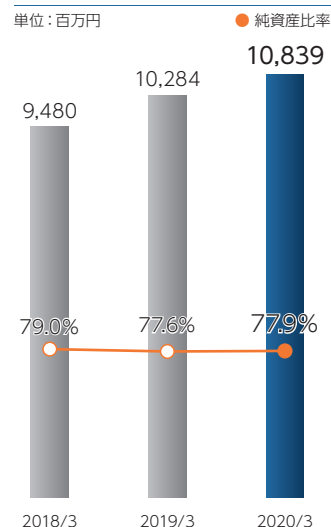
経常利益



当期純利益



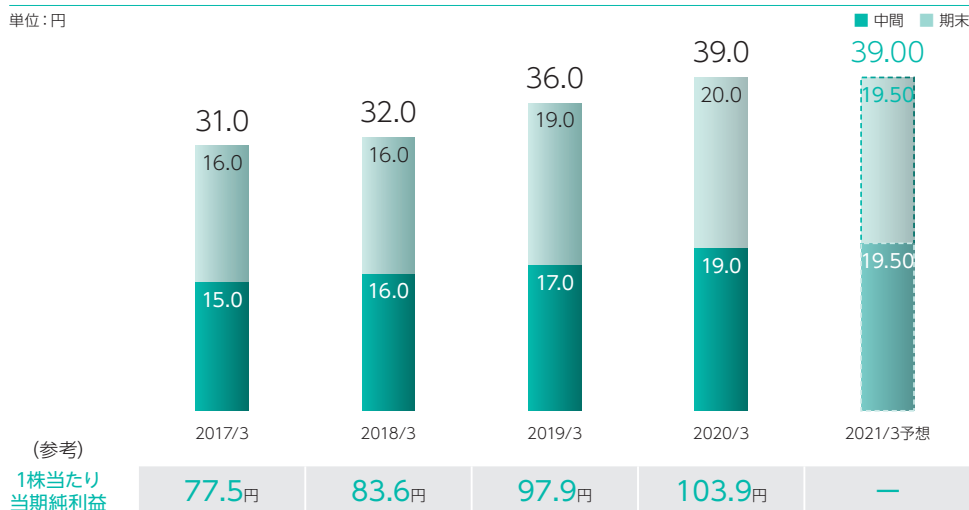
総資産 / 純資産比率



DIVIDEND 配当金

配当金の推移

単位：円



CORPORATE DATA 会社概要

会社概要

(2020年3月31日現在)

商号	旭情報サービス株式会社 ASAHI INTELLIGENCE SERVICE CO.,LTD.
設立	1962年8月7日
資本金	7億3,336万円
従業員数	1,527名
主な事業内容	当社は、ネットワークシステムの構築、運用管理をはじめヘルプデスクや障害対応などのサポート業務、およびソフトウェアの設計・開発業務を主力とするほか、汎用系システムの保守・運用管理などの情報処理サービスを行っております。

役員

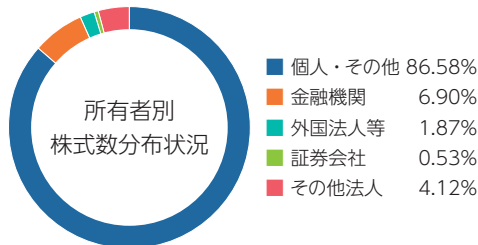
(2020年6月23日現在)

代表取締役社長	田中 博
常務取締役	濱田 広徳
取締役	英保 吉弘
取締役	宮下 勇人
取締役	水野 伸一
取締役	高橋 章近
取締役(社外)	岩田 守弘
取締役(社外)	菱山 玲子
常勤監査役	上関 孝昭
監査役(社外)	三浦 州夫
監査役(社外)	清水万里夫
監査役(社外)	久保 英資

■ 株式の状況

発行可能株式総数	20,729,000株
発行済株式の総数	8,264,850株
株主数	3,474名

■ 株式分布状況



■ 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
旭情報サービス社員持株会	1,039,636	13.38
大槻幸子	420,520	5.41
三井住友信託銀行株式会社	374,000	4.81
光通信株式会社	268,300	3.45
大槻武史	168,752	2.17
日本生命保険相互会社	157,020	2.02
大槻剛康	150,383	1.93
大槻幸史	136,200	1.75
小野一夫	110,000	1.42
大槻広子	97,900	1.26

(注)上記のほか、当社所有の自己株式が492,267株あります。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎ 0120-782-031
インターネットホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/agency/
公告方法	電子公告により当社ホームページに掲載いたします。 ただし、やむを得ない事由により電子公告できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 ※公告掲載の当社ホームページアドレス http://www.aiskk.co.jp/
上場証券取引所	東京証券取引所

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

- 証券会社に口座をお持ちの株主様 → お取引の証券会社にお問合せください
- 証券会社に口座をお持ちでない株主様 → 左記電話照会先にお問合せください
- 特別口座の株主様 (株券電子化以前に「ほふり」を利用されていなかった株主様) → 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

株主優待制度のご案内

株主の皆さまのご支援に感謝し、毎年、年1回の株主優待を実施しております。

- 贈呈基準** 毎年3月31日現在で、**1,000株**以上お持ちの株主様
- 優待内容** 「カタログギフト」5,000円コース
地球環境や社会貢献に配慮したモノやサービスを多数掲載。ご希望商品1点をお選びいただけます。



旭情報サービス株式会社

〒100-0005
東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー11F
<http://www.aiskk.co.jp>



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。